

## だるま新会員対象の「だるま活動紹介」と意見交換会

日時：2018年4月25日（水）13：30～15：45

場所：かながわ市民活動センター 11階研修センター 司会進行：池田邦昭

出席者：林 政夫（195）、堀内 真（196）、門倉 茂（197）、福田 博（198）、  
江上 健（202）、鷲山龍太郎（203） 以上新会員 6名  
池田邦昭（002）、荏本孝久（009）、小原 茂（016）、高松清美（030）、  
中島光明（036）、山口 章（044）、田中喜世美（050）、片山晋（058）、  
中村 誠（179）、増田佳恵（146）、 以上役員 10名

配布資料：①参加者名簿 ②「防災塾・だるま」の紹介チラシ ③だるま規約  
④だるまHPの抜粋 ⑤平成29年度「防災まちづくり談義の会」一覧表  
⑥第151回「防災まちづくり談義の会」レポート及び第155回チラシ

参考資料：防災塾・だるま「10周年記念誌」及び「資料編」

### 1. 参加役員の自己紹介・・・9名（小原さんを除く）

池田 邦昭（002）

東京都出身、横浜市緑区在住40年。緑区まちネット会員。  
だるま出生より参加しています。ご不明な点等問合せください。  
080-5007-0885

荏本 孝久（009）

横浜市出身、横浜市港北区在住35年（横浜市在住67年）。神奈川大学工学部  
教授。だるま設立時より参加しています。  
連絡先：mail：[enomoto1@kanagawa-u.ac.jp](mailto:enomoto1@kanagawa-u.ac.jp) 携帯：090-8040-8952

高松 清美（030）

東京都出身、国際交流活動39年、かながわ県民活動サポートセンター相談員  
NPO よこはま・七つ星代表、防災に関わるきっかけは阪神淡路大震災以降  
だるま歴？090-5426-8012

中島 光明（036）

岐阜県出身、横浜市緑区在住48年、だるま在籍13年（設立当初から）、  
理事（ネットワーク担当）、緑区まちネット会員。

山口 章（044）

横浜市緑区在住17年余。平成12年10月に転居した際、地元の問題解決のため、自治会長に就任。防災塾・だるま入塾は、防災対策の重要性、技術情報を求めて、そして勇気を戴くため。現在、鴨居中学校防災拠点会長

田中 喜世美（050）

富山出身、名古屋で薬局勤務、民生児童委員6年、その間に区の災害ボランティア

アを立ち上げ活動開始。

横浜に移り住み 11 年。区役所の紹介でだるま発足 3 年目から参加。

3.11 の 4 月から町内会役員・地域防災拠点運営委員に参加 7 年になります。

片山 晋 (058)

兵庫県姫路市出身、横浜市磯子区在住 50 年、横浜市アマチュア無線非常  
通信協力会・磯子区支部長。だるまは発足 3 年目から参加

増田 佳恵 (146)

静岡県出身、葉山町在住 8 年。はやま防災ネットワーク、HSVN (葉山災害  
ボランティアネットワーク)、一色小避難所運営委員会に入っています。東日本  
大震災をきっかけに、地元でのボランティア活動に関わりはじめました

中村 誠 (179)

岡山県出身。だるま歴わずか 2 年目、何故か役員。瀬谷区干池自治会副会長  
(防災担当) 3 年目。防災に関わる切っ掛けは、西宮市の実家を震災で失くした  
こと、台風の豪雨災害で消防団員だった兄を亡くしたこと

## 2. 新会員の自己紹介

195 林さん：緑区竹山在住

196 堀口さん：相模原市在住、市内 43 団体の防災隊長を 11 年歴任、  
文科省の防災大賞受賞

197 門倉さん：相模原市在住、光が丘地域で活動、現在地域防災計画の策定作業中

198 福田さん：海老名災害ボランティアで活動、8 月のビッグレスキュー大会の  
ため合同総合防災訓練のマニュアル見直しを実施中

202 江上さん：鎌倉市在住、玉縄エリア (16 小学校区の一つ) で自主防災隊を  
立上げ。だるま会員柳瀬さんの紹介で入塾

203 鷲山さん：大田区在住、小学校長をリタイア、北綱島・太尾・長津田小学校  
(北部地域) の校長として防災教育を推進、銀行協会が発行した  
「わたしたちの横浜」に防災の執筆

## 3. 「防災塾・だるま」の説明・・・荏本塾長

■だるまの理念 ■発足の経緯

■活動の目的：①防災力の向上 ②人的ネットワーク作り ③防災まちづくりに貢献

注) 新しく「かながわ人と智ネットワーク」が立ち上がり、だるま活動とパラレルな  
関係で活動がスタートする。

## 4. 活動内容の説明・・・担当：池田さん、片山さん

①「年次総会」・「月例会」と「役員会」

②「防災まちづくり談義の会」

③「実践的防災まちづくりコーディネーター養成講座」の企画・運営

- ④「被災地から学ぶ」・・・現地見学会及び交流会
- ⑤防災各種行事への参加・協力：地域、行政、学校
- ⑥防災研究者との意見交換会
- ⑦防災ゲーム「J-DAG」の啓蒙・普及

5. だるまHPの活用・・・担当：中島さん

URL：<http://darumajin.sakura.ne.jp/>

会員専用ページ：「ログインID」と「パスワード」は別途メールで連絡します。

6. 意見交換

子どもへの防災教育が課題として指摘され、学校教育の全カリキュラムに加えることは可能ではないかとの意見があった（新しい指導要領との兼ね合い）。

以上

記録：中島光明

